

コーディネータープロフィール

やまじ きよたか
山路 清貴 さん (山路商事株式会社 都市・建築設計室長
NPO法人横浜プランナーズネットワーク理事長)

建築、道、公園など都市を構成する個々の「もの」から総体としての「まち」に至るまで、そこで生活する「ひと」の立場にたって、人間性に対応した一貫した魅力を生み出すこと(=まちづくり)を信条としています。

市民参加型のプロジェクトを数多く経験しており、横浜市では、大岡川プロムナード、野口英世記念公園と長浜ホールの整備などを手掛けています。

また、横浜市の「まちづくりコーディネーター」として、鶴見区寺尾地区や旧東海道戸塚宿周辺地区のまちづくりなどにも携わっています。

[主な著書]

「まとまらない意見をまとめる合意形成の技術」(西東社)

《お問い合わせ》

市民局 地域活動推進課

Tel 045-671-3624

Fax 045-664-0734

e-mail : sh-erimane@city.yokohama.jp



平成22年12月13日(月)

13:30~16:00

横浜市健康福祉総合センター

元気な地域づくり 活動報告会

プログラム

13:30 開会

開催趣旨説明

13:40 事例発表

(1) 南区 中村地区

「小さな輪を、大きな輪へ! ~つながりの輪を広げよう~」

すぎやま じゅんこ
杉山 潤子 さん(中村ふるさとづくり実行委員会委員)

やまむら りょういち
山村 良一 さん(中村ふるさとづくり実行委員会会計監査)

【資料1】

(2) 都筑区 池辺地区

「池辺地区 元気づくりの取組」

くりはら かつひと
栗原 克人 さん(都田中学校PTA会長)

【資料2】

(3) 保土ヶ谷区 千丸台地区

「地域住民のために活かそう地域力!」

みなみで としお
南出 俊男 さん(千丸台地区社会福祉協議会会長)

【資料3】

14:35 休憩

14:50 意見交換

事例発表地区3地区のみなさん

南区中村地区 杉山さん、山村さん

都筑区池辺地区 栗原さん、座間恒一さん(池辺町連合自治会会長)

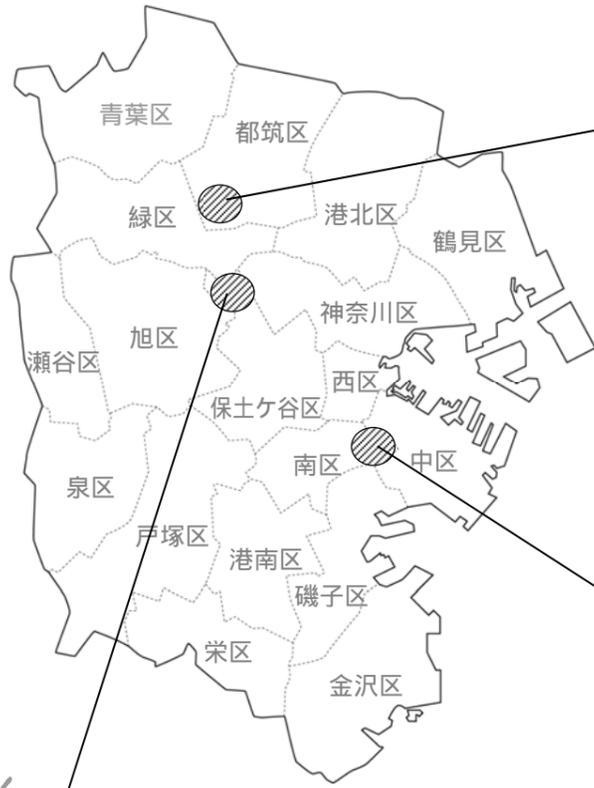
保土ヶ谷区千丸台地区 南出さん

コーディネーター まちづくりコーディネーター やまじ きよたか
山路 清貴 さん

16:00 閉会

主催：横浜市市民局・健康福祉局

発表地区紹介



カッコ内の数字は発表順です



(2) 都筑区 池辺地区	
タイトル	「池辺地区 元気づくりの取組」
発表者	栗原 克人 さん(都田中学校PTA会長)
活動の概要	池辺地区は、特に未就学児と子育て世代人口が急増し、今までの子育て支援事業だけでは、参加者があふれてしまうほどでした。そこで区役所の呼びかけに応じて協議会を発足し、地域ぐるみで子どもたちの成長を見守る取組を始めました。 その結果、未就学児から小中学生までの地域の子どもたちが、様々な場面で、地域の大人と関わりを持つことができました。 子どもたちとの交流は、その親世代との交流へとつながります。 地域には、まだ池辺地区の元気づくり事業を知らない方もいるので、もっと多くの方に伝えて、地域の連携を深めていきます。
こんな団体が協力し合っています!	地区連合自治会、地区社会福祉協議会、地区民生委員児童委員協議会、青少年指導員、体育指導委員、高齢者クラブ、子ども会、水辺愛護会、小・中学校、PTA、おやじの会、コミュニティハウス など
地域の概要	区域 池辺町連合自治会 人口・世帯数等 人口 約 12,000 人、世帯数 約 5,200 世帯、高齢化率 15% (H22.9 現在) 町の特徴 ・北部は「都筑野菜」等を生産・出荷する農業が盛んで、市街化調整区域が過半を占めています。 ・南部は緑産業道路沿いに工場や事業所が集積した地域で、大型ショッピングセンターの開業により、新たな人の流れが起きています。 ・子育て世代が多く転入しているため、人口は増加傾向で、特に35～49歳と0～14歳の年齢層が5年前と比較して大きく増加しています。

(1) 南区 中村地区	
タイトル	「小さな輪を、大きな輪へ! ~つながりの輪を広げよう~」
発表者	杉山 潤子 さん(中村ふるさとづくり実行委員会委員) 山村 良一 さん(中村ふるさとづくり実行委員会会計監査)
活動の概要	平成19年5月に、地域福祉保健計画に定める『誰もがいきいきと暮らしていける街』の実現に向けて「なかむら ふるさとづくり実行委員会」を設置しました。 福祉保健の支えあいネットワークづくりを目指し、 ・地域交流の推進策として、健康と福祉のまつり「七夕フェスタ」 新春もちつき大会 地区社協講座の開催など ・活動の一層の活性化策として、会報紙の発行 地区ホームページの開設、運営 ・つながりの輪の拡大策として、施設団体連絡会の開催などを進めています。
こんな団体が協力し合っています!	「なかむら ふるさとづくり実行委員会」 構成員は中村地区の 社会福祉協議会 連合町内会 主任児童委員 小・中学校 地域ケアプラザ NPO法人等です。
地域の概要	区域 中村地区連合自治会 人口・世帯数等 人口 約 16,000 人、世帯数 約 9,000 世帯、高齢化率 26% (H22.9 現在) 町の特徴 ・地区の北側を中村川が流れており、南側が丘陵地です。 ・地区内には丘陵地に向けた急勾配の道路が数多く通っています。 ・丘陵地の地形の中や斜面緑地の近くに戸建住宅やアパートが作られています。 ・丘陵地に大規模なマンションの建設が続いています。 ・交通手段としては丘陵地を横断するバス便や徒歩で市営地下鉄の駅にアクセスしています。

(3) 保土ヶ谷区 千丸台地区	
タイトル	「地域住民のために活かそう地域力!」
発表者	南出 俊男 さん(千丸台地区社会福祉協議会会長)
活動の概要	「支え合い見取り合える暖かな地域」を目指して日ごろから様々な活動を行っています。その中の1つとして、住民相互の独自の見守り体制「地域見守りネット」があります。自らの意思により登録した方が、緊急連絡先やかかりつけの病院など本人の情報と自宅の鍵を地区社会福祉協議会へ提供することで、万一の場合に備えた取組です。 平成20年度には「地域の見守りネットワーク構築支援事業」のモデル地区に指定されました。現在は、ボランティアにより登録者宅への緊急通報回転灯の設置などを行い、地域連携の強化や事業の周知・拡充に向けた取組を進めています。その結果、平成22年10月末日現在の登録者数は222世帯となり事業の認知度は向上し、登録希望者も増加しています。
こんな団体が協力し合っています!	自治会、地区民生委員児童委員協議会、区役所、区社会福祉協議会、地域ケアプラザ、各種訪問介護サービス事業者、各新聞販売店、コンビニエンスストア、商店会、地域ボランティア
地域の概要	区域 千丸台団地自治会 人口・世帯数等 人口 約 2,000 人、世帯数 約 1,000 世帯、高齢化率 44% (H22.8 現在) 町の特徴 ・坂と階段を避けられない高台で、交通手段はバスが主体です。 ・昭和39年から41年にかけて入居された歴史の古い団地です。 ・団地の規模が大きく地域活動が盛んです。 ・10人に4人が65歳以上の高齢者となっており、居住者の高齢化が問題となっています。